



## 第66代理事長 虎山 宗哲

### 【価値創造型のリーダーとして】

刻々と変わり続ける環境のなかにいる我々は、これからの未来を歩むために今現在、何が求められているのでしょうか。IoTやAIといったデジタル化がビジネスを一風させる社会展望において、我々は自らの仕事や能力といった「ひと」として従来評価されてきた価値が問われるなか、これまで以上に自らの可能性を広げることで、「ひと」としての新たな存在価値を確立していかなければなりません。しかし、我々は物事を思考する上で固定観念に捉われてしまい、自らの可能性を狭めてしまうことで、生み出される価値も限定的なものとしてはいえないでしょうか。過去の成功事例や経験を常識として踏襲することに固執するのではなく、これまでの慣習や手法に捉われない思考を持つことで、何事に対しても新たな価値を求めて進んでいく必要があります。生み出される価値をより多く創出するためにも、物事に対する自らの思考を収めた枠組みを客観的な視点で認識することで、固定観念を打破していかなければなりません。そして、その価値を具現化するために、戦略的ビジョンを描き行動につなげることで、潜在的な可能性を発掘してまいります。常に未来を見据え、新たな価値を創出し続けるリーダーとして率先してこのまちに変化を促し、仲間からも市民からも憧れられる存在となることで、このまちに我々の運動を広く伝播してまいります。

### 【まちに新たな風を】

現在の日本では地方創性が叫ばれ、行政をはじめ各種団体においても地域活性化策として、まちのブランディングを講じ、その魅力を知ってもらうために様々な工夫を凝らしたプロモーションが展開されています。このまちにおいても長い歴史のなかで培われ、人びとに受け継がれてきた陶磁器をはじめとした地域ブランドを構成する要素が多く存在しています。しかし、地域ブランドの潜在力は非常に高いにもかかわらず、我々市民は地域ブランドを明確に理解しているとは言えず、その要素も有効に活用できていないと感じます。地域ブランドを単に知るだけでなく、誇ることができる地域ブランドを市民や企業が自ら創出し力強く発信することで、さらなる飛躍ができるのではないのでしょうか。我々はまちの発展を望む市民として、そして地域ブランドを活用する青年経済人として、まちに貢献できるきっかけを創出していかなければなりません。

まちのブランディングは効果を追求することや数値化できるもの、目新しさだけを強く発信することを重視するのではなく、まずはそのものの本質を理解することが大切ではないのでしょうか。何故このまちにおいて地域ブランドとして根付くことができたのか、そう成り得た本質を知ることが必要です。その本質にこそブランディングの要があります。そして、その地域ブランドを持続可能なものとするためにも、市民一人ひとりがまちへの貢献意識をもち、積極的にこのまちを想うシンボリックプライドを醸成することで、志を同じくする仲間との協働を通して、明るい豊かな社会の実現を目指してまいります。我々が変革の能動者として市民とまちの懸け橋となり、未来のまちの利益となる新たな地域ブランド創出のプラットフォームを築くことで、新たな価値がひとを魅了し、国内外からのビジターの創出にもつなげることができます。そうすることで、このまちに確固たるアイデンティティが確立され、50年、100年と持続できるまちへと変わっていくと確信します。

### 【運動の芽を育てる】

我々は日本青年会議所東海地区協議会の運動発信の場である、東海フォーラム2020開催を全力で応援してまいります。この東海フォーラムは、青年会議所運動の発信の場であり、まちづくりを加速させる最大のきっかけとなります。志を同じくする仲間との交流を通して会員意識の高揚、さらには地域を活性化させることができます。東海地区内から集まった会員に地域の魅力を五感で体感していただき、東海フォーラムでの学びを各地会員会議所での運動に活かしていただくことで、それぞれの地域の未来を創造していくことにつながると考えます。また、多治見青年会議所は65年に亘り多くの運動を展開してまいりました。現在でも青年会議所を築き上げていった運動の成果は数多くこのまちに残っています。どのように事業が構築され展開していったのか、単年度の事業なのか、継続的な事業であったのかを知るためにも、歴史を知ることが必要です。多治見というまちを創ることに、まずは我々の運動がまちをどう感化させてきたのかを知り、そして次なる種を撒く未来を見据えて、我々の目指すべき方向を示さなければなりません。我々はそれをビジョンとして掲げ、実直に進んでいくことで、このまちに運動の芽を数多く育ててまいります。

### 【むすびに】

本年、多治見青年会議所は韓国済州南元青年会議所との姉妹締結20周年を迎えます。我々はこの永き時間を通じて、青年会議所運動に大きな意義を果たす友情を培ってまいりました。この揺るぎない友情は、如何なる国際情勢においても翻弄されないものであり続けなければなりません。この友情がたとえ小さな芽だとしても、国と国とのつながりに大きな変化をもたらす道だと信じ、民間外交の先駆者として国境を超えた仲間と共に手と手を取り合い、さらなる融和を育ててまいります。我々を取り巻く環境は多くの可能性を秘めています。しかし、その環境にはひとが恒久的に生みだしてきた問題も存在しています。問題はひとが生み出した以上、決して我々の範疇を超えるものではなく、たとえどんなに時間がかかったとしても必ず解決できるのです。だからこそ我々は40歳までという限られた時間のなかで、一つひとつの問題を解決するために時間を費やすのではなく、一つの問題からより多くの価値を創造することが、持続可能な社会の実現へとつながるのです。そして、個の力による価値も組織の強みとなることで何倍にも膨らませることができ、まちの可能性を最大限に引き出してまいります。そんな青年が結成した青年会議所こそが、このまちにとって大いなる価値に成り得ると確信します。未来は我々青年が創る。仲間と共に夢と希望をもって進んでまいります。

執行部紹介



副理事長 加藤 大輔

新年あけましておめでとうございます。本年度副理事長を務めさせていただきます加藤大輔と申します。総務・渉外委員会の担当副理事長としてメンバー間の結束を強め、全メンバーで本年度の方向性を共有し、組織力を向上させてまいります。今までの経験を活かし精一杯務めさせていただきますので、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



副理事長 小澤 全和

新年あけましておめでとうございます。本年度副理事長兼、財務室長を務めさせていただきます小澤全和と申します。地域ブランド確立委員会では、まちの新たなブランドを考え発信しシビックプライドを醸成してまいります。多治見青年会議所65周年記念事業の担当副理事長として、精一杯務めさせていただきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



副理事長 久野 元騎

新年あけましておめでとうございます。本年度、副理事長を務めさせていただきます久野元騎と申します。価値創造型リーダー育成委員会では、固定観念を打破することで新たな価値を発見しビジョンをもって具体化する力を養うことで価値を創造できるリーダーを育成してまいります。至らぬ点は多々あるかと思いますが、精一杯務めさせていただきますので、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



専務理事 鈴木亜紀子

お健やかに新年をお迎えのことと存じます。本年度、専務理事の職をお預かりします鈴木亜紀子と申します。専務理事として、理事長をしっかりと支えてまいります。また、事務方の長として、組織を守ってまいりますと共に、会員が気持ちよく活動できるよう組織を下支えてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

委員長紹介



総務・渉外委員会  
委員長 天安 寿徳

新年あけましておめでとうございます。本年度総務・渉外委員会は「一心」をテーマに活動してまいります。全メンバーの心をついに結束力を高め、方向性を共有し組織力を高めてまいります。また、本年度は済州南元青年会議所との姉妹締結20周年でございます。先輩方が培われた友情を未来につなげ、さらなる融和を育んでまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



地域ブランド確立委員会  
委員長 坂崎 雄介

新年明けましておめでとうございます。地域ブランド確立委員会では、地域の発展のためにまちを知り、考え、発信することが必要と捉え、愛郷心とシビックプライドを醸成してまいります。私達の運動が地域ブランド確立の地盤を作っていくことで、まちの発展へと繋げてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



価値創造型リーダー育成委員会  
委員長 長尾 有祐

新年あけましておめでとうございます。価値創造型リーダー育成委員会では、ものごとを捉える視野を広げ固定観念を打破することで新たな価値を発見し、具体化する力を養うことで新たな価値を創造できるリーダーを育成してまいります。我々が新たな価値を創造できるリーダーとなり新たな風を吹き込むことで、このまちから必要とされる団体へと繋げてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



組織連携特別委員会  
委員長 吉田 企貴

新年あけましておめでとうございます。組織連携特別委員会委員長を務めさせていただきます吉田企貴と申します。当委員会の役割は、東海フォーラム2020開催の支援と中長期ビジョンの策定です。特別委員会ということで、全メンバーの参画のもと事業構築を実施するため、皆様にはいろいろとお願ひすることが多いかと思いますが、1年間どうぞよろしくお願いいたします。

新入会員紹介



加藤 久明 (株)キッズプランニング | 近藤 水穂 Miz-design | 古畑 佑樹 司法書士古畑祐樹事務所 | 山本 将寛 倉庫資料口資料整理工務科 | 寺島 大貴 Thanx | 篠塚 栄人 (株)美津山 | 若尾 将成 (株)大原自動車学校 | 池田亜佳音 大岡山生命保険(株) | 竹内小合子 多治見ききょう法律事務所 | 藤田 悠吾 多治見市役所

出向者紹介

- (公社)日本青年会議所  
社会グループ 価値デザイン委員会 委員 恩田 紘尚
- (公社)日本青年会議所東海地区協議会  
東海フォーラム2020運営委員会 委員長 吉田 企貴  
東海フォーラム2020運営委員会 総括 幹事 三和 義幸  
東海フォーラム2020運営委員会 運営 幹事 水野 恵介  
東海フォーラム2020運営委員会 会計 幹事 滝文 謙  
東海フォーラム2020運営委員会 委員 片岡 新之助  
第47回JC青年の船「とうかい号」 チームリーダー部長 小境 邦裕  
第47回JC青年の船「とうかい号」事務局 チームリーダー部長補佐 加藤 聖規  
第47回JC青年の船「とうかい号」研修委員会 委員 加藤 大輔

- (公社)日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会  
組織連携推進会議 委員 伊藤 寿高  
アカデミー委員会 副委員長 丹羽 亮介  
とうかい号運営委員会 委員 加藤 大輔  
岐阜ブロック大会2020実行委員会 委員 加藤 廣太郎

- 日本青年会議所業種別部会兼業部会出向者  
窯業部 会副部長 田財 千裕  
窯業部 会常任委員 原 正嗣  
窯業部 会常任委員 丹羽 亮介

第47回JC青年の船「とうかい号」一般乗船者募集のご案内



第47回JC青年の船「とうかい号」一般乗船者募集を行なっております。対象者は原則として多治見市に在住または勤務する年齢20歳からおおむね35歳までの男女、募集期限を2020年2月末までとさせていただきます。本年度は「誰もが輝く未来への挑戦!!～希望溢れる東海への航路(みち)～」をスローガンとし、2020年5月31日(日)から6月6日(土)までの7日間をかけて台湾に向けて出航します。多治見青年会議所として、乗船者が研修を通じて学んだことを職場・地域等で活かせるよう支援してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。